

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「発酵のまち・木曽町」情報発信強化事業
事業主体 (連絡先)	木曽町 (観光商工課 0264-22-4285 )
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,919,326円 (うち支援金: 2,062,000円)

### 事業内容

町で特許保有のすんき乳酸菌のキャラクターを使用し「発酵のまち」の情報発信の強化を行った。

#### 1 のぼり旗の作成

発酵のまちの統一感を醸成するためのぼり旗を作成。

#### 2 チラシの作成

発酵関係の取扱店やイベントを紹介するチラシを作成。広くPRに活用することを目的に、イベントでの配布及び観光案内所・道の駅等に配架した。

#### 3 すんき紹介動画の作成

四季を通してすんきができるまでの過程を紹介することで、木曽の風土と郷土食を町外へPRするとともに、食育などにも活用できる内容で製作した。

#### 4 冊子の作成

発酵食品の紹介及び発酵に関する意識を深めることに役立つよう作成し、町内の教育機関へも配布した。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① すんき乳酸菌のキャラクター化により作成したチラシ等が新聞等で紹介されるなど、発酵のまち木曽町をPRすることに一定の効果があった。チラシ・冊子等、物産展などの関連行事やイベントにおいてPRを行う事業所もあり、徐々にではあるが情報発信の機運が高まってきている。
- ② 町内の教育機関に冊子及びすんき紹介動画を配布したことで興味を持つきっかけ作りに役立つことができた。

### 今後の取り組み

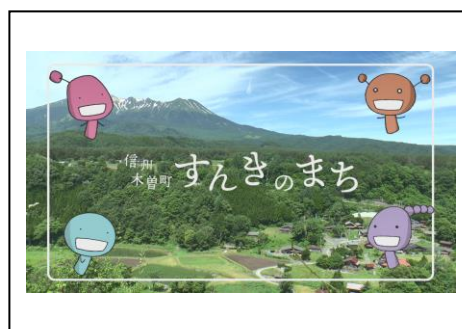
※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、さらに地域住民と協力しながら「発酵のまち木曽町」を印象づけられるよう、発酵食品を活用したメニューの提供や、道の駅で発酵に関するコーナーを設けるなどの取り組みを行っていく。作成した冊子や動画を活用して、町内の住民や子どもに対し発酵食品などの郷土食への意識を深め、地域の食文化の継承に役立つような取り組みを検討していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【信州木曽町 すんきのまち  
紹介動画】

### 【目標・ねらい】

- ① 発酵の町の情報発信強化
- ② 食育・食文化継承への活用

### ※自己評価 【B】

#### 【理由】

今までにない発酵のまちに特化した情報発信の強化を行うことができた。